

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和5年11月7日(2023.11.7)

【公開番号】特開2022-176306(P2022-176306A)
【公開日】令和4年11月25日(2022.11.25)
【年通号数】公開公報(特許)2022-217
【出願番号】特願2022-160452(P2022-160452)
【国際特許分類】

A 6 3 H 3/38(2006.01)

A 6 3 H 3/42(2006.01)

A 6 3 H 9/00(2006.01)

【F I】

A 6 3 H 3/38 Z

A 6 3 H 3/42

A 6 3 H 9/00 Q

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月27日(2023.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

人形体の顔面部品に組み付けられる眼部品であって、
前記眼部品の前面に配置される虹彩部と、
前記虹彩部の後面から突出して該虹彩部の内部に突出する突出部分を有する瞳孔部と
を備え、

前記突出部分は、前記虹彩部の表面まで突出することなく、該虹彩部の奥に位置すること
を特徴とする眼部品。

【請求項2】

前記突出部分の表面全体が前記虹彩部によって被覆されることを特徴とする請求項1に記載の眼部品。

【請求項3】

前記虹彩部は、後面が凹形状で形成されることを特徴とする請求項1又は2に記載の眼部品。

【請求項4】

前記突出部分は、前記虹彩部の後面の中心付近で突出しており、
前記虹彩部の後面から内部へ突出した前記突出部分とは異なる部分で該虹彩部の後面と接するように不透明の下地部が形成されることを特徴とする請求項2又は3に記載の眼部品。

【請求項5】

前記下地部は、少なくとも部分的に前記虹彩部に被覆されず、前記虹彩部の前面まで延伸した部分を有することを特徴とする請求項4に記載の眼部品。

【請求項6】

前記虹彩部の後面に接する前記下地部の表面の一部は凹凸形状が形成されていることを特徴とする請求項4又は5に記載の眼部品。

【請求項7】

前記眼部品は、複数種類の樹脂を使用したインサート成形により成形されることを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の眼部品。

【請求項 8】

前記眼部品は瞳部分を形成し、白目部及びまつ毛部とは別に形成されることを特徴とする請求項 6 に記載の眼部品。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の眼部品が組み付けられた顔面部品を有する人形体。

【請求項 10】

人形体の顔面部品に組み付けられる眼部品の製造方法であって、

前記眼部品の前面を被覆する虹彩部を成形する虹彩部成形工程と、
前記虹彩部の後面から突出して該虹彩部の内部に突出する突出部分を有する瞳孔部を成形する瞳孔部成形工程と、
を含み、

前記突出部分は、前記虹彩部の表面まで突出することなく、該虹彩部の奥に位置することを特徴とする製造方法。

【請求項 11】

前記眼部品の製造方法において、前記瞳孔部が形成されていない部分で前記虹彩部の後面と接するように下地部を成形する下地部成形工程を含むことを特徴とする請求項 10 に記載の製造方法。

【請求項 12】

眼部品の各成形工程では、複数種類の樹脂を使用したインサート成形を繰り返すことを含むことを特徴とする請求項 10 又は 11 に記載の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、例えば、人形体の顔面部品に組み付けられる眼部品であって、前記眼部品の前面に配置される虹彩部と、前面が凸形状で形成されるとともに、前記虹彩部の後面から突出して該虹彩部の内部に突出する突出部分を有する瞳孔部とを備えることを特徴とする。また、本発明は、例えば、人形体の顔面部品に組み付けられる眼部品であって、前記眼部品の前面に配置される虹彩部と、前記虹彩部の後面から突出して該虹彩部の内部に突出する突出部分を有する瞳孔部とを備え、前記突出部分は、前記虹彩部の表面まで突出することなく、該虹彩部の奥に位置することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明は、例えば、人形体の顔面部品に組み付けられる眼部品の製造方法であって、前記眼部品の前面を被覆する虹彩部を成形する虹彩部成形工程と、前面が凸形状で形成されるとともに、前記虹彩部の後面から突出して該虹彩部の内部に突出する突出部分を有する瞳孔部を成形する瞳孔部成形工程と、前記瞳孔部が形成されていない部分で前記虹彩部の後面と接するように下地部を成形する下地部成形工程とを含むことを特徴とする。また、本発明は、例えば、人形体の顔面部品に組み付けられる眼部品の製造方法であって、前記眼部品の前面を被覆する虹彩部を成形する虹彩部成形工程と、前記虹彩部の後面から突出して該虹彩部の内部に突出する突出部分を有する瞳孔部を成形する瞳孔部成形工程

10

20

30

40

50

と、を含み、前記突出部分は、前記虹彩部の表面まで突出することなく、該虹彩部の奥に位置することを特徴とする。

10

20

30

40

50